

第 92 回 高尾山 GREEN CLEAN 作戦

2019 年 1 月 5 日(土) 晴れ

冬晴れの青空の下、駅前の小公園で開会式、諸注意、体操が行われ 6 班に分かれて出発した。稲荷山コース入り口でキンギョツバキを観察した。旭稲荷で衣服調整と給水を行ない、稲荷山山頂に向かう。登山者が多く道を譲りながら観察を行なった。

昨年の台風による倒木の状況や、アラカシ・シラカシ・アカガシなど常緑樹の解説があり、班の 2 名の小学生は、ツルグミの葉に描かれたエカキムシの食痕を興味深げに観察していた。モミとカヤ、カヤとイヌガヤの葉先を手当てて見分けかたを体験し、フジキの紙のような袋を被った冬芽と袋が取れた冬芽、シラキのかわいい冬芽と葉痕などを観察した。ヒイラギのとげのある葉・丸い葉の生き残り作戦や、オニシバリの夏に枯れる不思議な生態、キジョラン・テイカカズラの風散布に適した種子などが観察できた。ムラサキシキブとヤブムラサキの果実による見分けかたや、イイギリ・ミヤマシキミ・マンリョウ・ヤブコウジなどの赤い果実、ジャノヒゲの青い果実のようにみえる種子などが観察できたが、期待していたもみじ台近くのシモバシラは、気温が上がったこともあり残念ながら見られなかった。

昼食後集合写真を撮りもみじ台を出発し、ゴミを拾いながら薬王院経由で 1 号路を下った。今回は寂しい冬の観察と思っていたが、冬芽や草木の果実など冬の高尾の自然に色々な発見があった。一方、初詣の人が多いいいかゴミが目立った。1 号路で、ライターとタバコの吸殻 2 本を見つけ、登山者のマナーアップの必要性も感じたが、清掃しながらすがすがしい気持ちで下山できた。

今回で、8 年前にこの作戦を開始してからの参加者は延 3000 名に達し、第 92 回の今回の参加者は過去最多であった。

拾い集めたゴミは、燃えるゴミが 20 リットル 2 袋、ペットボトルが 1 袋、缶が 1 袋、瓶が少量でした。



集合写真：過去最多の参加者

今月の見どころ：ヤブムラサキ実、フジキ冬芽、シモバシラ氷の華、イイギリ実、ヤドリギ

観察した植物（本文中記載以外）：カシワバハグマ種、カンアオイ花、シオデ実、クサギ実、ビナンカズラ実、シュンラン実・蕾、カニクサ、リョウブ冬芽、ヤマユリ実、ゴンズイ実、クロウメモドキ実、クロモジ冬芽、アブラチャン冬芽、ダンコウバイ冬芽、フサザクラ冬芽、ニワトコ冬芽、ミツマタ蕾、シキミ花、他

開催場所：稲荷山コース〔高尾山口駅～稲荷山～5号路～もみじ台～高尾山頂〕

参加者：63名（一般35名、FIT会員28名）

スタッフ：入江克昌〔代表、写真〕、稲葉 力、臼井治子、野坂俊樹、廣川妙子、福田正男、槇田幹夫〔補足〕

報告者：加藤 勝康

* 次回の「第 93 回高尾山 GREEN CLEAN 作戦」は 2019 年 2 月 2 日（土）小仏城山コースです。
高尾駅北口 8 時 40 分集合、小仏バス停～小仏峠～小仏城山～一丁平～もみじ台～高尾山です。

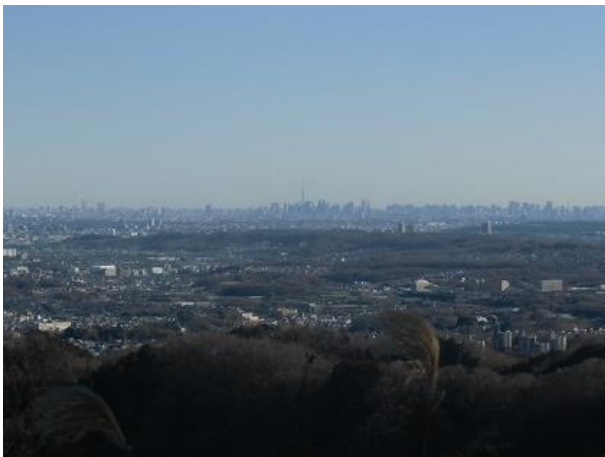




開会式：代表の年頭挨拶



自然観察：常緑樹の解説



稲荷山からスカイツリー遠望



ゴミ拾い：今回は多めのゴミ



鬼女の白髪（キジョラン）



定家の白髭？（テイカカズラ）



氷の華（シモバシラ：下見時）



青い果実のように見える種子（ジャノヒゲ）